



# ITIL<sup>®</sup> Module At a Glance

## Global Best Practice



For all organizations and people aiming to create products and services that feel as good as they function!

関係者参考資料

日本語版

Version 1.61 J



Module At a Glance



**ITIL (Version 5)**  
Modules At-a-Glance 日本語版

収録モジュール一覧

ITIL®の進化	3
The New ITIL 研修認定資格体系	5
ITIL® (Version 5) 全体像	6
ITIL® ファンデーション (Version 5)	7
ITIL® プロダクト (Version 5)	8
ITIL® サービス (Version 5)	9
ITIL® エクスペリエンス (Version 5)	10
ITIL® モニター、サポート、フルフィル(実現)(Version 5)	11
ITIL® プラン、インプリメント、コントロール (Version 5)	12
ITIL® コラボレート、アシュア、インプルーブ (Version 5)	13
ITIL® ストラテジー (Version 5)	14
ITIL® トランスフォーメーション (Version 5)	15
ITIL® AI ガバナンス	16
ITIL® ファンデーション Bridge (Version 5)	17
ITIL® Managing Professional Transition (Version 5)	18
ITIL® (Version 5) 認定資格の更新ガイド	19
ITIL 既存認定資格者の移行プラン	20
ITIL® Practice Manager (Version 5)取得希望者移行プラン	21

本資料は、2026年3月9日時点の情報をまとめています。大半のモジュールは、コンサルタントと専門家とベータユーザーによるコンテンツの検証実施中となります。今後の変更が発生する可能性がありますので、最新の情報をご確認ください。

## ITIL®の進化

### 背景：変化する世界と課題

1980年代、ITILの初版が英国政府の中央コンピュータ・電気通信局（CCTA）によってリリースされて以来、世界はすべて変わりました。当時のITIL®（かつては「ITインフラストラクチャ・ライブラリ」として知られていましたが、その名称を遥かに超える進化をしています）は、英国政府が政府各省庁にわたる情報通信技術（ICT）管理プロセスを標準化しようとする中で、その時代の課題に対応するために開発されました。

今日、テクノロジーの呼び方そのものも、ICTからITへ、そして今やデジタルへ、さらにはAIへと進化しています。デジタルとAIはもはやエマージングテクノロジーではなく、一般的な存在となっています。しかし、デジタルトランスフォーメーションやAIへの多大な投資にもかかわらず、ほとんどの組織や人々は、デジタルへのビジョンを真の「価値」に転換することに依然として苦労しています。その主な原因は、プロダクトとサービスの管理方法が現代の環境に追いついていないことにあり、具体的には以下の課題が挙げられます：

- ▶ 急速に増大する複雑性をナビゲートするための仕組みの理解とガイダンスの不足
- ▶ チームを整合させる共通言語の欠如により、サイロと断片化が生じている
- ▶ デジタルおよびAIへの投資を測定可能で影響力のある価値に転換できていない
- ▶ 戦略と、フィールドでの実務的・現実的な関連性との分断が生じている
- ▶ エマージングテクノロジーに振りまわされて、「価値」の差別化と収益性への課題がある
- ▶ 組織体系が及ぼす人材のモチベーションとシステム費用の増大への課題がある
- ▶ エマージングテクノロジー利用の方向性が定まらず、業務との乖離が発生している
- ▶ テクノロジーの人的側面である人への関心が不十分
- ▶ 急速に大転換する企業の階層間でのナレッジ過不足

### ITIL®の進化：40年以上の時代の進化に合わせた中心線としての歩み

40年以上にわたり、ITILは世界の変化するニーズに応え続けながら、世界中の人々と組織のコミットメントと貢献によって形作られ、**その時代に対応する「ITIL」をリリース**し、進化を遂げてきました。

今日の世界では、すべてのプロダクトとサービスはデジタルです。デジタルで設計・製造される「ペン」のような従来の非デジタル製品から、OSとアプリケーションで動作するスマートフォンのようなテクノロジーが基盤となる製品、さらにはソフトウェアのような本質的に完全にデジタルな製品まで、多岐にわたります。同時に、AIはあらゆるものを根本的に再構築しており、変化は常態化し、複雑性は当たり前ものとなっています。

この変化に追いつくためには、根本的な**マインドセットの転換**が求められます——「テクノロジーを運用する」から「テクノロジーと協働して価値・インパクト・そして最終的に**成長を創造する**」へのシフトです。

そして企業が大転換するターゲットオペレーティングモデルをどのように全部門がAIと電子化を持って進めるのか、ITILだけでは足りませんが、それでもITILがなければ無駄な投資が行われることも事実です。

このITILのコアなガイダンスを利用または基盤として、各組織のビジョンとゴールへの合致と市場での差別化のためのテイラリングしたエマージングプラクティスが環境の流れのなかで最終的に次の「ITIL」となります。高い生産性とイノベーションを通じて、エマージングプラクティスで個人がそしてチームが作り出そうとすることで企業成長のための差別化と成功を導きます。

## ITIL®が支えるデジタルプロダクトとサービス マネジメント

新しいITIL®は、強固なITサービスマネジメントのその遺産を基盤に、デジタルプロダクトとサービス マネジメント(DPSM)へと進化しました。このグローバルベストプラクティスフレームワークは、グローバルコミュニティの貢献によって開発され、深い業界知識と現実世界のインサイトを組み合わせています。

**ITIL (Version 5)** は、デジタルプロダクトマネジメントとサービスマネジメントをつなぐ共通言語として、チームがエンドツーエンドで一体となって動き、明確さとスピードで価値を解放し成長を推進することを可能にします。または、今まで通りに、組織によってデジタルプロダクトマネジメントとサービスマネジメントが分割管理されている場合には、個別に利用することも可能です。しかし、利用者個人は、両方の側面を理解することが価値の共創を円滑にする要件となります。そして、対象組織としては、あらゆる規模・業種の組織、官民両セクターに適しており、組織全体のすべての役割において不可欠なものとなっています。

新しい **ITIL** には、以下に関するガイダンスが含まれています：

- ▶ ITIL 4 でコロナ禍と VUCA 環境でその評価をたかめた従うべき原則を踏襲しています。
- ▶ プロダクトとサービスをライフサイクル全体にわたって総合的に理解管理し、優れた体験を実現します。
- ▶ エマージングテクノロジーや各種手法を包含的に見ることができるバリューチェーンとライフサイクルマネジメントを提供しています。
- ▶ イノベーションと価値を作り出す「エクスペリエンス（経験）」に焦点をあててレバレッジしています。
- ▶ 知識を実務的なアクションに転換し、真の成長を促進します。
- ▶ AI ネイティブでありながら、人間が中心であり続け、人材の基盤知識の成長を促します。
- ▶ デジタルおよび AI の能力を責任ある効果的な方法で統合して、ガバナンスを提供します。
- ▶ 「共通言語」を提供して、チーム間の整合性とコラボレーションを向上させ「価値の共創」を加速させます。
- ▶ 「基盤知識」とプラクティスガイドを提供して、自動化と創造性を推進する環境を提供します。

**ITIL (バージョン 5)** の新しいジャーニーへようこそ。ITIL はすべての人にとって不可欠な知識と思考基盤を提供し、複雑性をナビゲートし、デジタルプロダクトとサービスを総合的に管理し、持続的な価値と成長に貢献できるようにします。

- ▶ 価値の共創によるイノベーションの創出するオペレーティングモデル
- ▶ 全社的または局所的なターゲットオペレーティングモデルに対応補完
- ▶ デジタルプロダクトとサービス マネジメントとそのライフサイクルマネジメント
- ▶ ITIL v2/v3/4 のプロセスとプラクティスの熟成
- ▶ 既存プロセスとプラクティスの継承／統合／拡張と自動化
- ▶ AI 利用に関する組織的対応とガバナンス

**複雑性を成長に変える力**     *Do you speak ITIL ?*

# The NEW ITIL 資格体系



ITIL® Practice Manager : Foundation + One of (MSF / PIC / CAI) + ITIL® Transformation  
 ITIL® Managing Professional : Foundation + All modules ( Product / Service / Experience ) + ITIL® Transformation  
 ITIL® Strategic Leader : Foundation + ITIL® Strategy + ITIL® Transformation  
 ITIL® Master : ITIL® Practice Manager + ITIL® Managing Professional + ITIL® Transformation

- 補足：
- ITIL Foundation は、ITIL Transformation を含むすべてのコアモジュールにおける唯一の前提資格です。
  - ITIL Foundation および ITIL AI Governance には、事前要件はありません。
  - ITIL Transformation は、ITIL Foundation 修了後すぐに受講可能です。
  - 受講順は柔軟に選択できますが、本体系図では推奨される学習ルートを示しています。

## Module At-a-Glance

# ITIL® (Version 5) 全体像

## ITIL® (Version 5)

### モジュール ポジショニング

AI 駆動の世界において、デジタルプロダクトおよびサービスマネジメントの設計・提供・継続的改善を統合し、あらゆる組織・あらゆる役割の人々が自信を持って変革をリードし、測定可能なビジネス価値を共創するためのグローバル・ベストプラクティス・フレームワークと資格体系。

### コアテーマ

- ▶ IT サービスマネジメント (ITSM) から デジタルプロダクト & サービスマネジメント (DPSM) へと範囲を拡張し、以下の 6 つを中核テーマとして提供
  - ▶ プロダクトとサービスの価値共創と統合管理
  - ▶ AI ネイティブ設計
  - ▶ エンドツーエンドのライフサイクル管理
  - ▶ 体験主導・成果重視の価値共創
  - ▶ サステナビリティの統合
  - ▶ 継続的なトランスフォーメーション文化

### 対象職種

- ▶ ITIL Version 5 は特定の IT 職種に限定せず、「For every role and every organization. For all!」を掲げる。主な対象は以下の 3 層。
- ▶ 既存の ITIL/ITSM プロフェッショナルなど、従来の ITIL 利用がより広いデジタルコンテキストで活躍するための更新されたガイダンスを提供。
- ▶ エンタープライズリーダー、変革チーム、CIO、CDO、変革責任者、エンタープライズアーキテクトなど、デジタル・組織変革・AI 主導の変化を戦略的にナビゲートするリーダー層。
- ▶ プロダクト・エクスペリエンス・デジタルチーム、プロダクトマネージャー、プロダクトオーナー、CX リーダー、デジタルデリバリーチーム、ソフトウェア開発エンジニア、DevOps 担当など、プロダクト主導型組織で活躍する新世代の者。

### ベネフィット

#### 組織へのメリット

- ▶ プロダクトとサービス管理の統合により、部門間のサイロと摩擦を解消し価値の流れを加速
- ▶ AI-ready by design: AI ガバナンスを組み込み、責任ある倫理的な AI 導入と拡張を実現
- ▶ 戦略・投資・実行・成果を一貫したフレームワークで直接連結し、ROI を可視化
- ▶ デジタルオペレーティングモデルへの移行を支援し、組織のレジリエンスを強化
- ▶ ITIL v3・ITIL 4 との後方互換性を維持し、過去の投資と知識を継続活用可能

#### プロフェッショナルへのメリット

- ▶ 職務・役割に応じた明確なキャリアパス (Practice Manager / Managing Professional / Strategic Leader / Master)
- ▶ プロダクトマネジメント・CX・AI・変革管理など、現代のデジタル職種に直接対応した学習内容
- ▶ 「暗記」から「理解と実践での応用」へシフトしたオープンブック試験形式が実務能力を重視
- ▶ 世界中で認知されるグローバル資格として市場価値を向上

### 主要マーケティングメッセージ

- ▶ "ITIL, The language of Growth" ITIL は成長と発展のためのデジタル時代の共通言語。
- ▶ "ITIL Guiding Principle harmonizes into one team, one challenge" 従うべき原則の mindset が障壁を越えられるものへと変える。
- ▶ "One framework. Clear pathways. Real business value." 1 つのフレームワーク。明確なキャリアパス。真のビジネス価値。
- ▶ "For every role and every organization. For all." すべての役割に。すべての組織に。すべての人のために。
- ▶ "Do you speak ITIL?" ITIL はデジタル時代の共通言語。
- ▶ "Lead transformation with confidence." 自信を持って変革をリードする。
- ▶ "Digital Product and Service Management in the AI-driven world." AI 主導の世界におけるデジタルプロダクト & サービスマネジメントのグローバル標準。

### コンテンツサマリー

- ▶ ITIL Version 5 は ITIL 4 の確固たる基盤を継承しつつ、ITSM からデジタルプロダクト & サービスマネジメント (DPSM) へと範囲を大幅に拡張したフレームワーク。
- ▶ プロダクトとサービスを切り離してではなく、単一のエンドツーエンドのライフサイクルとして統合管理することを中核に据え、組織が優れた体験・一貫した戦略・持続的な成長を実現できるよう設計。
- ▶ 新たに ITIL AI Capability Model を追加して AI 前提の環境に対応し、サステナビリティをサービス品質の主要特性として位置付けと価値付け。
- ▶ 34 のマネジメントプラクティスは「一般マネジメントプラクティス」と「プロダクト & サービスマネジメントプラクティス」の 2 グループに再編され、プラクティスの暗記よりも目的・構造・メリット・バリューステム内での役割の理解と実践でも応用が重視される。

## Module At-a-Glance

# ITIL® ファンデーション (Version 5)

## ITIL® Foundation (Version 5)

### モジュール名称

ITIL ファンデーション (Version 5)

### モジュール ポジショニング

ITIL のコアコンセプト、原則、およびプラクティスを紹介し、現代のデジタルプロダクト・サービスマネジメントのための共通言語を確立します。

### コアテーマ

- ▶ デジタルプロダクト・サービスマネジメントにおける主要概念の紹介
  - ▶ ITIL フレームワークの紹介
- ▶ 効果的なプロダクト・サービスマネジメントを通じた価値の共創
- ▶ ITIL フレームワークの進化とデジタル・AI 駆動の世界への対応

### 対象職種

- ▶ デジタルプロダクト・サービスマネジメントに関わる組織のあらゆる職位のプロフェッショナル（キャリア初期のプロフェッショナルおよび IT 以外の職種を含む）

### ベネフィット

- ▶ 組織内およびカスタマー、パートナー、サプライヤーとの間でデジタルプロダクト・サービスマネジメントの共通言語を確立する
- ▶ プロダクトおよびサービスを通じてどのように価値が生み出されるかについての実務的な理解を提供する
- ▶ デジタルプロダクト・サービスマネジメントに対するホリスティックで適応可能なアプローチを支援する
- ▶ パフォーマンス、協働、および成果を改善するための ITIL ガイダンスの適用を可能にする
- ▶ 継続的な専門能力開発のための確固たる基盤と明確なパスウェイを提供する

### 主要マーケティングメッセージ

- ▶ 現代のデジタルプロダクト・サービスマネジメントを理解するための必須の出発点
- ▶ 技術系・非技術系チームにまたがる共通の言語とマインドセットを構築する

- ▶ 今日のデジタル、データ駆動型、AI 対応の組織をサポートするように設計されている

### コンテンツサマリー

本モジュールは、ITIL フレームワークの概要（ガイディング・プリンシプル、コアモデル、および基本概念を含む）を提供し、これらがどのようにプロダクトおよびサービスの創造・提供・継続的改善に活用されるかを説明します。受験者は、効果的なプロダクト・サービスマネジメントを通じた価値の共創の方法と、組織がパフォーマンス・協働・成果を改善するために ITIL ガイダンスをどのように活用するかを理解できるようになります。また、最新のテクノロジー、データ駆動型意思決定、自動化、人工知能、および現代の働き方をサポートするために ITIL フレームワークがどのように進化したかを説明し、同時に異なる組織コンテキストや成熟度レベルへの適応可能性を保持していることも解説します。

### アセスメント概要

- ▶ 多肢選択式試験
- ▶ オープンブック
- ▶ 60分・40問
- ▶ 合格基準：26/40（65%）

### 学習範囲

- ▶ ITIL の主要用語および定義
- ▶ ITIL プロダクト・サービスマネジメントの4つの側面
- ▶ ITIL プロダクト・サービスライフサイクル
- ▶ ITIL バリューシステム
- ▶ バリューストリームの特典・マッピング・管理
- ▶ ITIL と AI
- ▶ ITIL と他のフレームワーク

### 前提条件

- ▶ 前提条件なし

### 推奨研修期間

- ▶ 2日間

## Module At-a-Glance

# ITIL® プロダクト (Version 5)

## ITIL® Product (Version 5)

### モジュール名称

ITIL プロダクト (Version 5)

### モジュール ポジショニング

コンセプトから価値実現まで、ライフサイクル全体にわたるプロダクトマネジメントの実務的ガイダンスを提供し、プロダクト思考とサービスマネジメントを統合します。

### コアテーマ

- ▶ プロダクト関連活動を主軸とした、プロダクト・サービスマネジメントへの統合的アプローチ
- ▶ エンドツーエンドのデジタルプロダクト・サービスライフサイクルマネジメント
- ▶ プロダクトのイニシアティブ・活動とビジネス価値の整合

### 対象職種

- ▶ プロダクトおよびデジタルデリバリーの職種
- ▶ サービスマネジメント・デリバリーの職種
- ▶ アーキテクチャおよびデザインの仕事
- ▶ ソフトウェア・アプリケーション開発チーム

### ベネフィット

- ▶ プロダクト開発とデリバリー活動を統合することで、持続可能で高インパクトなデジタルプロダクトのデリバリーを可能にする
- ▶ サイロを削減し、進化するビジネスニーズとの整合を支援し、速度・イノベーション・アジリティ・価値創造の文化を実現する
- ▶ ビジネス分析、プロダクトデザイン、ソフトウェア開発・管理、テスト、リリース・デプロイメント、継続的改善プラクティス全体に ITIL 原則を適用する
- ▶ 統合的プロダクト・サービスマネジメントを戦略・戦術・オペレーションの実現要因として位置づけ、投資と成果を整合させる

### 主要マーケティングメッセージ

- ▶ プロダクトマネジメントとサービスマネジメントを単一の実務的アプローチに統合する
- ▶ ビジネス価値と整合したエンドツーエンドのプロダクトライフサイクルマネジメントを支援する
- ▶ プロダクト主導型、デジタル型、アジャイル型デリバリーモデルを採用する組織に最適

### コンテンツサマリー

本モジュールは、ITIL ガイダンスに沿って、デジタルプロダクトを通じた価値のイノベーションと共創に向けたガイダンスを提供します。人材・プロセス・テクノロジーを整合させ、プロダクトライフサイクルの複雑さを乗り越え、プロダクトがビジネス目標に沿った測定可能な価値を提供できるようにするための実務的な方向性を提供します。

### アセスメント概要

- ▶ 多肢選択式
- ▶ オープンブック
- ▶ 90分・40問
- ▶ 合格基準：28/40 (70%)

### 学習範囲

- ▶ デジタルプロダクトとサービス
- ▶ Discover (発見)
- ▶ Design (設計)
- ▶ Acquire (調達)
- ▶ Build (構築)
- ▶ Transition (移行)
- ▶ Operate (運用)
- ▶ Deliver (提供)
- ▶ Support (サポート)
- ▶ ライフサイクルマネジメント

### 前提条件

- ▶ ITIL 4 認定または ITIL ファンデーション (Version 5)
- ▶ 公認トレーニングまたは公式 e ラーニング

### 推奨研修期間

- ▶ 2~3 日間

## Module At-a-Glance

# ITIL® サービス (Version 5)

## ITIL® Service (Version 5)

### モジュール名称

ITIL サービス (Version 5)

### モジュール ポジショニング

一貫した価値創造と高品質な顧客体験を実現するため、サービスの設計・提供・改善に関する実務的ガイダンスを提供します。

### コアテーマ

- サービス関連活動を主軸とした、プロダクト・サービスマネジメントへの統合的アプローチ
- エンドツーエンドのデジタルプロダクト・サービスライフサイクルマネジメント
- サービス活動・イニシアティブとビジネス価値・成果の整合

### 対象職種

- サービスマネジメント・サービスデリバリーの専門家
- プロダクトおよびデジタルデリバリーの職種
- アーキテクチャおよびサービスデザインの職種
- ソフトウェア・アプリケーション開発チーム

### ベネフィット

- インシデント、リクエスト、問題、変更、および継続的改善プラクティス全体に ITIL 原則を適用し、信頼性・レジリエンス・測定可能な価値提供を改善する
- サービスデリバリーをビジネス目標と整合させ、自動化を活用し、継続的改善を支援することでサイロを解消する
- サービスマネジメントを戦略・戦術・オペレーションの実現要因として位置づけ、投資決定をビジネス成果に直結させる

### 主要マーケティングメッセージ

- 実際のサービスデリバリーと改善を支援する、実務的なエンドツーエンドのサービスマネジメントビュー
- サービス活動をビジネス価値と顧客成果に整合させることで、戦略と実行を連結する
- デジタル、プロダクト主導型、AI 対応環境においてサービスマネジメントを近代化しようとする組織に最適

### コンテンツサマリー

本モジュールは、ITIL ガイダンスに沿って、デジタルサービスマネジメントにおける卓越性を達成するための実務的ガイダンスを受験者に提供します。フルライフサイクルにわたってサービスを管理するために人材・プロセス・テクノロジーを整合させることに焦点を当て、レジリエンス・応答性・顧客満足度の向上を支援します。

### アセスメント概要

- 多肢選択式
- オープンブック
- 90 分・40 問
- 合格基準：28/40 (70%)

### 学習範囲

- デジタルプロダクトとサービス
- Discover (発見)
- Design (設計)
- Acquire (調達)
- Build (構築)
- Transition (移行)
- Operate (運用)
- Deliver (提供)
- Support (サポート)
- ライフサイクルマネジメント

### 前提条件

- ITIL 4 認定または ITIL ファンデーション (Version 5)
- 公認トレーニングまたは公式 e ラーニング

### 推奨研修期間

- 2~3 日間

## Module At-a-Glance

# ITIL® エクスペリエンス (Version 5)

## ITIL® Experience (Version 5)

### モジュール名称

ITIL エクスペリエンス (Version 5)

### モジュール ポジショニング

すべてのステークホルダーに価値を創造するため、カスタマージャーニー全体にわたるカスタマー・ユーザー・従業員のエクスペリエンスの人間中心設計と管理に焦点を当てます。

### コアテーマ

- ▶ トランザクション型のサービス・プロダクトデリバリーから、エクスペリエンス駆動型の価値共創へのシフト
- ▶ イニシアティブおよび活動全体にわたるユーザー中心思考の組み込み
- ▶ スケーラブルで人間に焦点を当てたプロダクト・サービスデザインおよび継続的改善
- ▶ 運用プロセスと感情的・認知的・社会的エクスペリエンスの整合
- ▶ ユーザーエクスペリエンスの主要予測因子としての従業員エクスペリエンス

### 対象職種

- ▶ ストラテジーの専門家
- ▶ プロダクトの専門家
- ▶ サービスの専門家

### ベネフィット

- ▶ エクスペリエンス思考をプロダクトとサービスに組み込み、意味のあるデジタルエクスペリエンスの設計・提供・継続的改善を可能にする
- ▶ 意思決定と実世界の成果を結びつけ、リターンを向上させ、ポジショニングを明確にし、エグゼクティブの整合を強化する
- ▶ 手戻りを削減し、提供物の関連性・使いやすさ・満足度を向上させることで、市場投入までの時間を改善する
- ▶ エクスペリエンスをサービスの不可欠な部分として扱い、デジタルテクノロジーをより人間的にし、問題の発生頻度を低減することで信頼を構築する

### 主要マーケティングメッセージ

- ▶ エクスペリエンスマネジメントをデジタルプロダクト・サービスの意思決定のコアに組み込む
- ▶ 機能的であるだけでなく、意味があり使いやすいサービスを設計する組織を支援する
- ▶ エクスペリエンスデザインを価値創造と整合させることでより良いビジネス成果を支援する

### コンテンツサマリー

本モジュールは、ITIL ガイダンスに沿って、機能的であるだけでなく体験としても優れたプロダクトとサービスを創出するためのガイダンスを受験者に提供します。ユーザー中心型・成果駆動型のエクスペリエンスを提供するために人材・プロセス・テクノロジーを整合させるための実務的な方向性を提供します。

### アセスメント概要

- ▶ 多肢選択式
- ▶ オープンブック
- ▶ 90分・40問
- ▶ 合格基準：28/40 (70%)

### 学習範囲

- ▶ ITIL の主要用語および定義
- ▶ ITIL エクスペリエンス
- ▶ エクスペリエンスの把握
- ▶ サービスジャーニー
- ▶ ITIL と AI
- ▶ ITIL と他のフレームワーク

### 前提条件

- ▶ ITIL 4 認定または ITIL ファンデーション (Version 5)
- ▶ 公認トレーニングまたは公式 e ラーニング

### 推奨研修期間

- ▶ 2~3 日間

## Module At-a-Glance

# ITIL® モニター、サポート、フルフィル(実現)(Version 5)

## ITIL® Monitor, Support and Fulfil (Version 5)

### モジュール名称

ITIL モニター、サポート、フルフィル (Version 5)

### モジュール ポジショニング

インシデントマネジメント、サービスデスク、サービスリクエストマネジメント、モニタリング・イベントマネジメント、問題マネジメントの5つのITIL マネジメントプラクティスのコアコンセプトと適用をカバーする複合モジュールです。

### 主要マーケティングメッセージ

- コアとなるオペレーション上のITIL プラクティスを単一のプラクティスモジュールにまとめる
- モニタリング、サポート、フルフィルメント活動にわたる信頼性の高い応答性のあるサービスオペレーションを支援する
- ビジネス目標との整合を保ちながらオペレーション成熟度を強化したい組織に最適

### コアテーマ

- 5つのITIL マネジメントプラクティスのコンセプトの理解と適用：インシデントマネジメント、サービスデスク、サービス要求マネジメント、モニタリング・イベントマネジメント、問題マネジメント
- プラクティスの成功要因
- ITIL の4つの側面
- ITIL ケイパビリティモデル

### コンテンツサマリー

本モジュールは、5つのITIL マネジメントプラクティス（インシデントマネジメント、サービスデスク、サービスリクエストマネジメント、モニタリング・イベントマネジメント、問題マネジメント）の主要なコンセプト、原則、価値、および課題についての理解を受験者に提供します。組織がこれらのプラクティスから最大限の価値を引き出せるよう、戦略レベルとオペレーションレベルの両方でベストプラクティスガイダンスを提供します。

### 対象職種

- サービスマネジメント・デリバリーの職種（例：IT マネージャー オペレーション、IT サービスマネージャー）
- サービスデリバリーの専門家（例：IT スペシャリスト：オペレーション）
- プロセスリード（例：インシデントマネジメント、問題マネジメント）

### ベネフィット

- コアサービスマネジメントプラクティス全体でのオペレーションパフォーマンスを向上させる
- 顧客期待とビジネス価値の一貫したデリバリーを支援する
- 戦略目標を戦術・オペレーションの実行と整合させ、ビジネス全体の成功を支援する

### アセスメント概要

- 多肢選択式
- クローズドブック
- 90分・60問
- 合格基準：暫定 39/60 (65%)

### 学習範囲

- インシデントマネジメント
- サービスデスク
- サービス要求マネジメント
- モニタリング・イベントマネジメント
- 問題マネジメント
- モニター、サポート、フルフィル

### 前提条件

- ITIL 4 ファンデーションまたはITIL ファンデーション (Version 5)
- 公認トレーニングまたは公式 e ラーニング

### 推奨研修期間

- 2~3日間

## Module At-a-Glance

# ITIL® プラン、インプリメント、コントロール (Version 5)

## ITIL® Plan, Implement and Control (Version 5)

### モジュール名称

ITIL プラン、インプリメント、コントロール (Version 5)

### モジュール ポジショニング

変更実現、デプロイメントマネジメント、リリースマネジメント、サービス構成マネジメント、IT アセットマネジメントの5つのITIL マネジメントプラクティスのコアコンセプトと適用をカバーする複合モジュールです。

### コアテーマ

- 5つのITIL マネジメントプラクティスのコンセプトの理解と適用：変更実現、デプロイメントマネジメント、リリースマネジメント、サービス構成マネジメント、IT 資産マネジメント
- プラクティスの成功要因
- ITIL の4つの側面
- ITIL ケイバビリティモデル

### 主要マーケティングメッセージ

- 変更、リリース、構成プラクティスを単一のプラクティスモジュールにまとめる
- 安定性とコンプライアンスを維持しながら変更の制御されたデリバリーを支援する
- デジタル環境でスピード、制御、リスクのバランスを取ろうとする組織に最適

### コンテンツサマリー

本モジュールは、5つのITIL マネジメントプラクティス（変更実現、デプロイメントマネジメント、リリースマネジメント、サービス構成マネジメント、IT アセットマネジメント）の主要なコンセプト、原則、価値、および課題についての理解を受験者に提供します。組織がこれらのプラクティスから最大限の価値を引き出せるよう、戦略レベルとオペレーションレベルの両方でベストプラクティスガイダンスを提供します。

### アセスメント概要

- 多肢選択式試験
- クローズドブック
- 90分・60問
- 合格基準：暫定 39/60 (65%)

### 対象職種

- サービスマネジメント・サービスデリバリーの職種（例：IT オペレーションマネージャー、IT サービスマネージャー）
- サービスデリバリーの専門家（例：IT オペレーションスペシャリスト）
- プロセスリード（例：変更実現、IT アセットマネジメント）

### ベネフィット

- 制御された変更と実装を通じた戦略の効果的な実行を支援する
- サービスマネジメント活動の強固なガバナンスを実現する
- チームとステークホルダー間の調整と協働を改善する
- 戦略目標を戦術・オペレーション計画と整合させ、ビジネスの成功を支援する

### 学習範囲

- IT 資産マネジメント
- 変更実現
- デプロイメントマネジメント
- リリースマネジメント
- サービス構成マネジメント
- プラン、インプリメント、コントロール

### 前提条件

- ITIL 4 ファンデーションまたは ITIL ファンデーション (Version 5)
- 公認トレーニングまたは公式 e ラーニング

### 推奨研修期間

- 2~3 日間

## Module At-a-Glance

# ITIL® コラボレート、アシュア、インプルーブ (Version 5)

## ITIL® Collaborate, Assure, and Improve (Version 5)

### モジュール名称

ITIL コラボレート、アシュア、インプルーブ (Version 5)

### モジュール ポジショニング

関係マネジメント、サプライヤーマネジメント、サービスレベルマネジメント、継続的改善、情報セキュリティマネジメントの5つのITIL マネジメントプラクティスのコアコンセプトと適用をカバーする複合モジュールです。

### コアテーマ

- 5つのITIL マネジメントプラクティスのコンセプトの理解と適用：関係マネジメント、サプライヤーマネジメント、サービスレベルマネジメント、継続的改善、情報セキュリティマネジメント
- プラクティスの成功要因
- ITIL の4つの側面
- ITIL ケイバビリティモデル

### 主要マーケティングメッセージ

- コラボレーション、アシュアランス、改善プラクティスを単一のプラクティスマジュールにまとめる
- より強固なガバナンス、サプライヤー関係、サービスパフォーマンスを支援する
- 一貫性、信頼、継続的改善に注力する組織に最適

### コンテンツサマリー

本モジュールは、5つのITIL マネジメントプラクティス（関係マネジメント、サプライヤーマネジメント、サービスレベルマネジメント、継続的改善、情報セキュリティマネジメント）の主要なコンセプト、原則、価値、および課題についての理解を受験者に提供します。組織がこれらのプラクティスから最大限の価値を引き出せるよう、戦略レベルとオペレーションレベルの両方でベストプラクティスガイダンスを提供します。

### アセスメント概要

- 多肢選択式試験
- クローズドブック
- 90分・60問
- 合格基準：暫定 39/60 (65%)

### 対象職種

- サービスマネジメント・デリバリーの職種（例：IT マネージャー オペレーション、IT サービスマネージャー）
- サービスデリバリーの専門家（例：IT オペレーションスペシャリスト）
- プロセスリード（例：関係マネジメント、サービスレベルマネジメント）

### ベネフィット

- サービスマネジメント活動全体でのコラボレーションとアシュアランスを強化する
- サービスマネジメントプラクティスの効果的なガバナンスを支援する
- 内部・外部ステークホルダー間の関係を改善する
- 継続的改善の文化を通じてより強い競争優位性を構築する
- 戦略目標を戦術・オペレーション計画と整合させ、ビジネスの成功を支援する

### 学習範囲

- 関係マネジメント
- サプライヤーマネジメント
- サービスレベルマネジメント
- 継続的改善
- 情報セキュリティマネジメント
- コラボレート、アシュア、インプルーブ

### 前提条件

- ITIL 4 ファンデーションまたは ITIL ファンデーション (Version 5)
- 公認トレーニングまたは公式 e ラーニング

### 推奨研修期間

- 2~3日

## Module At-a-Glance

# ITIL® ストラテジー (Version 5)

## ITIL® Strategy (Version 5)

### モジュール名称

ITIL ストラテジー (Version 5)

### モジュール ポジショニング

変動性・不確実性・複雑性・曖昧性 (VUCA) 環境においてストラテジーを策定・実装・継続的に調整するためのガイダンスを提供します。

### コアテーマ

- テクノロジーとビジネス間の戦略的整合
- 継続的トランスフォーメーションの文化の構築
- タレント、信頼、投資意思決定
- AI を含む急速な変化とイノベーションを受け入れる準備

### 対象職種

- 組織のあらゆるレベルで戦略的責任を持つリーダー
- ストラテジーの実装に対する戦術的責任を持つプロフェッショナル
- 戦略目標の支援に対するオペレーショナル責任を持つプロフェッショナル

### ベネフィット

- 戦略的ケイパビリティが組織のビジョンとミッションに適合していることを確保する
- より明確なガバナンスとコミュニケーションにより既存の戦略的ケイパビリティを形式化・開発する
- サービスマネジメントの4つの側面すべてを考慮しながら、特にガバナンスに関してサービス・バリュー・システム (SVS) の主要部分のパフォーマンスを改善する
- 目的と価値観への注力を維持しながら、バランスのとれた持続可能な意思決定を行うための明確さと自信を提供する

### 主要マーケティングメッセージ

- テクノロジー、投資、実行をビジネスストラテジーと整合させる組織を支援する
- 複雑で急速に変化する環境での自信ある意思決定を支援する
- デジタル、組織、AI 駆動の変化をナビゲートするリーダー向けに設計されている

### コンテンツサマリー

本モジュールは、ITIL ガイダンスに沿って、テクノロジー投資をビジネスストラテジーと成果に整合させることで、明確さと自信をもって行動できるよう受験者を準備させます。デジタルプロダクトおよびサービスが測定可能な価値を提供しながら、急速に進化する環境において信頼・アジリティ・継続的価値共創の文化を組み込むことを確保するのに役立ちます。

### アセスメント概要

- 多肢選択式
- オープンブック
- 90分・40問
- 合格基準：28/40 (70%)

### 学習範囲

- ITIL の主要用語および定義
- ITIL ストラテジーマネジメントモデル
- 戦略的ケイパビリティ
- ITIL と他のフレームワーク

### 前提条件

- ITIL 4 認定または ITIL ファンデーション (Version 5)
- 公認トレーニングまたは公式 e ラーニング

### 推奨研修期間

- 2~3 日間

Module At-a-Glance

## ITIL® トランスフォーメーション (Version 5)

### ITIL® Transformation (Version 5)

#### モジュール名称

ITIL トランスフォーメーション (Version 5)

#### モジュール ポジショニング

プロダクトとサービス全体にわたって変革を組み込み、持続させ、最適化するための実務的でスケーラブルなガイダンスを提供します。

#### 主要マーケティングメッセージ

- 複雑なトランスフォーメーションイニシアティブを管理するための構造化された実務的アプローチを提供する
- 変革期間中のガバナンス、実行、学習のバランスを取る組織を支援する
- ビジネス価値と組織レジリエンスに整合した持続可能なトランスフォーメーションを支援する

#### コアテーマ

- トランスフォーメーションの複雑性と組織コンテキストの理解
- ITIL トランスフォーメーションモデルの適用
- 持続可能な変革を実現するためのパターン、ツール、ガバナンスの活用

#### コンテンツサマリー

本モジュールは、ITIL ガイダンスに沿って、ガバナンス・実行・継続的学習のバランスを取りながら組織の働き方を変革するためのガイダンスを受験者に提供します。人材・プロセス・テクノロジーを整合させ、トランスフォーメーションが測定可能な価値を提供し、エンタープライズ全体にわたってレジリエンスを構築することを確保するための実務的な方向性を提供します。

#### 対象職種

- 変革イニシアティブのスポンサーおよびオーナー（変革をリードする責任者）
- トランスフォーメーション業務の提供に関わるプロフェッショナル（何をすべきかを理解するため）
- トランスフォーメーションの影響を受けるプロフェッショナル（期待できるサポートとエンゲージメントを理解するため）
- トランスフォーメーションイニシアティブを通じて組織を支援するコンサルタント

#### ベネフィット

- マネジメントとガバナンスのケイパビリティが組織が求める働き方に適合していることを確保する
- より明確なアカウントビリティと責任体制により組織のケイパビリティを形式化・効率化する
- サービスマネジメントの4つの側面すべてを考慮しながら、個々のプラクティスやツール活用など、サービス・バリュー・システム（SVS）の特定部分のパフォーマンスを改善する
- ステークホルダーとバリューストリーム間のコラボレーションを支援することで、SVS 全体のパフォーマンスを改善する

#### アセスメント概要

- 多肢選択式
- オープンブック
- 90分・40問
- 合格基準：28/40（70%）

#### 学習範囲

- ITIL トランスフォーメーションの概要
- ITIL トランスフォーメーションモデル
- トランスフォーメーションパターン
- 測定、学習、統合
- ITIL と AI
- ITIL と他のフレームワーク

#### 前提条件

- ITIL 4 認定または ITIL ファンデーション (Version 5)
- 公認トレーニングまたは公式 e ラーニング

#### 推奨研修期間

- 2~3 日間

**Module At-a-Glance**

**ITIL<sup>®</sup> AI ガバナンス**

**ITIL<sup>®</sup> AI Governance (Version 5)**

---

後日、公式書籍と認定試験の検証作業が終了後に公表されます。

Intended for blank

## Module At-a-Glance

# ITIL® ファンデーション Bridge (Version 5)

## ITIL® Foundation Bridge (Version 5)

### モジュール名称

ITIL ファンデーションブリッジ (Version 5)

### モジュール ポジショニング

ITIL 4 認定保有者が、ITIL ファンデーション (Version 5) に導入された主要な強化点を素早く効率よく理解するために設計されています。

### 主要マーケティングメッセージ

- ITIL 4 プロフェッショナルが最新の内容に追いつくための最速の方法
- 既存の知識を繰り返すことなく、変更内容のみに特化している
- 組織が迅速かつ一貫してスキルをアップグレードするのに最適

### コアテーマ

- デジタルプロダクト・サービスマネジメントにおける主要概念の紹介
- ITIL フレームワークの進化とデジタル・AI 駆動の世界への対応
- ITIL 4 から ITIL (Version 5) への主要な強化点への注力

### コンテンツサマリー

本モジュールは、ITIL 4 と比較して ITIL (Version 5) に導入された変更点と主要な強化点のみに特化し、受験者が既存の内容を再学習することなく効率的に知識を更新できるようにします。

### アセスメント概要

- 多肢選択式試験
- クローズドブック
- ITIL (Version 5) の更新内容のみに焦点
- 30分・20問
- 合格基準：65%

### 対象職種

- ITIL ファンデーション (Version 5) で変更された内容を素早く効率よく理解するためのすべての ITIL 4 認定保有者

- デジタルプロダクト・サービスマネジメントに関わる組織のあらゆる職位のプロフェッショナル (キャリア初期のプロフェッショナルおよび IT 以外の職種を含む)

### ベネフィット

- 組織内およびカスタマー、パートナー、サプライヤーとの間でデジタルプロダクト・サービスマネジメントの共通言語を確立する
- プロダクトおよびサービスを通じてどのように価値が生み出されるかについての実務的な理解を提供する
- デジタルプロダクト・サービスマネジメントに対するホリスティックで適応可能なアプローチを支援する
- パフォーマンス、協働、および成果を改善するための ITIL ガイダンスの適用を可能にする
- 継続的な専門能力開発のための明確な基盤と進捗パスを提供する

### アセスメント概要

- 多肢選択式試験
- オープンブック
- 60分・40問
- 合格基準：26/40 (65%)

### 学習範囲

- ITIL 4 から ITIL (Version 5) への変更内容

### 前提条件

以下を除くいずれかの ITIL 4 認定：

- ITIL 4 スペシャリスト：Acquiring and Managing Cloud Services
- ITIL 4 スペシャリスト：Sustainability in Digital and IT

### 推奨研修期間

- 1日間

## Module At-a-Glance

# ITIL® Managing Professional Transition (Version 5)

## ITIL® Managing Professional Transition (Version 5)

### モジュール名称

ITIL マネージングプロフェッショナル トランジション (Version 5)

### モジュール ポジショニング

ITIL (Version 5) に導入された主要な強化点のみに焦点を当て、ITIL 4 および ITIL v3 のプロフェッショナルに明確でシンプルなアップグレードルートを提供します。

### コアテーマ

- ファンデーション、プロダクトマネジメント、サービス、エクスペリエンス、トランスフォーメーションにわたる、ITIL 4 から ITIL (Version 5) への主要な強化点と変更点への注力
- 既存の ITIL プロフェッショナルのための明確で構造化されたアップグレードパス

### コンテンツサマリー

本モジュールは、ITIL (Version 5) においてファンデーション、プロダクトマネジメント、サービス、エクスペリエンス、トランスフォーメーションにわたって導入された変更点と主要な強化点のみに特化し、経験豊富なプロフェッショナルが効率的かつ一貫して知識を更新できるようにします。

### アセスメント概要

- 2つの多肢選択式試験 (MPT 試験と Transformation 試験)
- オープンブック
- ITIL 4 から ITIL (Version 5) への変更内容のみに焦点
- 120分・60問
- 合格基準：暫定 42/60 (70%)
- また、通常の「ITIL Transformation」の認定試験を二つの目の試験として合格すること

### 学習範囲

- ITIL 4 から ITIL (Version 5) への変更内容のみ

### 対象職種

- ITIL 4 または ITIL v3 認定に投資しており、直接的なアップグレードルートが必要とするプロフェッショナル
- デジタルプロダクト・サービスマネジメントに関わる組織のあらゆる職位のプロフェッショナル

### 前提条件

- ITIL 4 マネージングプロフェッショナル、または
- ITIL 4 マスター、または
- ITIL v3 エキスパート、または
- ITIL v3 マスター
- 公認トレーニングまたは公式 e ラーニング

### ベネフィット

- 既存の ITIL 4 および ITIL v3 の資格を持つプロフェッショナルに明確でシンプルなアップグレードパスを提供する
- 将来対応の職種への円滑な移行を支援する
- プロダクト・サービスチームのより迅速でホリスティックな整合を可能にし、顧客信頼を強化し、デジタル投資のリターンを向上させる

### 主要マーケティングメッセージ

- 経験豊富な ITIL プロフェッショナルが ITIL (Version 5) に移行するための最も効率的な方法
- 既存の知識を繰り返すことなく、変更内容のみに特化している
- これまでの投資を守りながら将来対応のケイパビリティへの進捗を可能にするよう設計されている

### 推奨研修期間

- 5日間 (ファンデーション 0.5日、プロダクト/サービス/エクスペリエンス 3日、トランスフォーメーション 1.5日)

## A clear, at-a-glance guide for certified professionals

### ITIL® (Version 5) 認定資格の更新ガイド

本ガイドは、現在の ITIL 認定資格から ITIL (バージョン 5) への推奨される最もシンプルな移行ルートを示しています。

#### HOLDERS OF ITIL 4

既存認定資格	ITIL (Version 5) エントリーポイント	推奨パス
Any ITIL 4 certificate*	ITIL (Version 5) upper-level modules またはBridge研修	職種に応じたPM、MP、SLのパスへ
ITIL 4 Practice Manager	ITIL Transformation (Version 5)	ITIL Practice Manager (Version 5)が認定
ITIL 4 Managing Professional	ITIL Managing Professional (Version 5)	ITIL Managing Professional (Version 5) を認定
ITIL 4 Strategic Leader	ITIL Transformation (Version 5)	ITIL Managing Professional (Version 5) を認定
ITIL 4 Master	ITIL Managing Professional (Version 5)	ITIL Master (Version 5) を認定

#### HOLDERS OF ITIL V3

既存認定資格	ITIL (Version 5) エントリーポイント	推奨パス
ITIL v3 Foundation	ITIL Foundation (Version 5)	職種に応じた上位資格であるPM、MP、SLのモジュールへ
ITIL v3 Intermediate	ITIL Foundation (Version 5)	
ITIL v3 Expert (MALC)	ITIL Managing Professional (Version 5)	ITIL Managing Professional (Version 5) を認定
ITIL v3 Master	ITIL Managing Professional (Version 5)	ITIL Master (Version 5) を認定

- \*: ITIL 4 認定資格保有者は、ITIL Foundation (Version 5)を取得せずに、ITIL (Version 5)の上位コースへ進むことができます。また、
- ITIL Transformation, ITIL Managing Professional Transition (バージョン 5) モジュールは、英語版で最終検証段階にあります。確定次第、詳細が共有されます。

#### Holder of New ITIL to ITIL 4

- ITIL Foundation (version 5)認定資格は、ITIL 4 の上位資格への事前要件にはなりません。ITIL 4 の上位資格の取得には、ITIL 4 Foundation 認定が必要となります。

#### ITIL (Version 5) is an evolution, not a reset.

既存の ITIL の知識は引き続き有効であり、ITIL (バージョン 5) への柔軟な移行オプションが用意されています。

## ITIL 既存認定資格者の移行プラン

所有認定証	既存 ITIL 4 研修	ブリッジ研修 (期間限定)	ITIL (Version 5) エントリーポイント	称号 / 認定
ITIL v3 Expert	⇒	MP Transition v5	⇒	ITIL Managing Professional (Version 5)
Other ITIL v3 認定	⇒	⇒	ITIL FND v5	
ITIL 4 Master	⇒	MP Transition v5	⇒	ITIL Master (Version 5)
ITIL 4 Strategic Leader	⇒	⇒	ITIL Transformation	ITIL Strategic Leader (Version 5)
ITIL 4 Managing Professional	⇒	MP Transition v5	⇒	ITIL Managing Professional (Version 5)
ITIL 4 Practice Manager	⇒	⇒	ITIL Transformation	ITIL Practice Manager (Version 5)
ITIL 4 PM と MP のデュアル称号	⇒	MP Transition v5	⇒	ITIL PM / MP (Version 5) のデュアル称号
ITIL 4 MP と SL のデュアル称号	⇒	MP Transition v5	⇒	ITIL PM / MP (Version 5) のデュアル称号
ITIL 4 PM と SL のデュアル称号	⇒	⇒	ITIL Transformation	ITIL PM / SL (Version 5) のデュアル称号
ITIL 4 Foundation	⇒	ITIL Foundation Bridge	⇒	ITIL Foundation (Version 5)
ITIL 4 Foundation	⇒	⇒	ITIL MP/PM/SL コース	当該モジュールの認定
ITIL 4 SL ストリーム (済1:未1資格)	⇒	⇒	ITIL Strategy & Transformation	ITIL Strategic Leader (Version 5)
ITIL 4 SL ストリーム (済1:未1資格)	Complete ITIL 4 SL	⇒	ITIL Transformation	ITIL Strategic Leader (Version 5)
ITIL 4 MP ストリーム (済3:未1資格)	Complete ITIL 4 MP	MP Transition v5	⇒	ITIL Managing Professional (Version 5)
ITIL 4 MP ストリーム (済1:未3資格)	⇒	⇒	ITIL MP (Version 5)	当該モジュールの認定
ITIL 4 FND & CDS 認定済	Complete ITIL 4 PM	⇒	ITIL Transformation	ITIL Practice Manager (Version 5)

\*1: ITIL Foundation Bridge は、ITIL 4 FND と Version 5 との差分研修と認定試験となります。

\*2: ITIL 4 Foundation は、すべての ITIL (Version 5)モジュールの事前要件となります。

## ITIL® Practice Manager (Version 5)認定取得・移行プラン

ITIL® Practice Manager (Version 5)認定には、ITIL 4 MSF、ITIL 4 PIC、ITIL 4 CAI のバンドル試験を利用することが可能です。

所有認定証	既存 ITIL 4 研修	ブリッジ研修 (期間限定)	ITIL (Version 5)	称号 / 認定
ITIL を初めて学ぶ人	⇒	⇒	ITIL FND + MSF + Transformation	ITIL Practice Manager (Version 5)
<b>ITIL 認定資格保有者</b>				
ITIL 4 Practice Manager	⇒	⇒	ITIL Transformation	ITIL Practice Manager (Version 5)
ITIL 4 FND & ITIL 4 MSF* <sup>1</sup>	⇒	⇒	ITIL Transformation	ITIL Practice Manager (Version 5)
ITIL 4 FND & CDS	ITIL 4 MSF* <sup>1</sup>	⇒	ITIL Transformation	ITIL Practice Manager (Version 5)
ITIL 4 Foundation	⇒	⇒	ITIL MSF* <sup>1</sup> + Transformation	ITIL Practice Manager (Version 5)
ITIL 4 Foundation	ITIL 4 MSF* <sup>1</sup>	⇒	ITIL MSF* <sup>1</sup> + Transformation	ITIL Practice Manager (Version 5)
ITIL Foundation (Version 5)	⇒	⇒	ITIL MSF * <sup>1</sup> + Transformation	ITIL Practice Manager (Version 5)
ITIL Foundation (Version 5)	ITIL 4 MSF* <sup>1</sup>	⇒	ITIL Transformation	ITIL Practice Manager (Version 5)

\*1: **MSF** は、**CAI** や **PIC** などの他のプラクティス・バンドル製品として解釈される場合があります。なお、ITIL (バージョン 5) のプラクティス バンドルモジュールは、まだリリースされておらず、2026 年第四四半期移行 (10 月移行) にリリースされる予定です。リリース日程は未定。